寺社を巡る会

活　動　記　録　書

開 催 日： 平成２８年５月１３日（金）	開催テーマ： 都筑の丘から眺望と歴史の道を歩く
開催場所： 都筑区南西部	記 入 者： 寺田　英男

参加人数：寺社を巡る会会員　　男　２４名　　女　４名　　計　２８名
ビジター　　男　　名　　女　　名　　計　　名
合　　計　　２８名

実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題　など）：

コース：都筑ふれあいの丘駅～川和富士公園～月出松公園～中原街道～山王神社～東漸寺（法話拝聴）～貝の坂旧街道～妙蓮寺（昼食）～旧都筑郡の中心地～瑞雲寺～川和町駅（解散）

都筑区南西部は公園、緑道がとても多く、自然と眺望、そして歴史史跡も多く触れることの出来る地域である。明治から昭和前期には、武蔵の国、神奈川県に属する都筑郡の政治と商業の中心地として繁栄を続けてきた川和周辺の今を訪ねた。

スタートは都筑ふれあいの丘駅（地下鉄グリーンライン）。整備された街を抜け、川和富士公園に着く。標高７４ｍ　天気次第で、富士山、丹沢、遠くには南アルプスも望める。360 度の展望が素晴らしい。川和富士は江戸中期から明治にかけて富士講が築いた富士塚で、都筑区には 4 個の富士塚がある。お鉢めぐりの後、緑道「ゆうばえのみち」を経て、月出松公園に着く。縄文時代中期の「加賀原遺跡」の上に整備された公園、港北ニュータウンではかなりの数の遺跡が発掘されているが、この遺跡も 21,000 ㎡の竪穴式住居跡というが、そのまま埋め戻され公園となったと聞く。

続いて徳川時代、鷹狩りの際に近道として重宝したと言われる中原街道を進み、般若院　東漸寺に着く。高野山真言宗、本尊　不動明王、天平年間行基菩薩が草庵を造立、永享年間の再興といわれる。徳川家直轄の寺であった。境内の文殊堂には文殊菩薩の坐像があり、関東随一の文殊菩薩霊場とされている。境内庭先ながら、御住職から縁起などの法話を拝聴することが出来た。

「貝の坂旧街道」という山越えの旧道を通り抜け、城根山　妙蓮寺に向かう。

妙蓮寺は日蓮宗、本尊　釈迦牟尼仏・十界曼荼羅、開山康永 3 年、現在地に遷山は享禄 3 年。都筑区の日蓮宗寺院は当寺のみ。本堂の天井にお駕籠がある。その昔、住職が檀家を廻る折、使ったものという。この辺り、都筑郡の中心地であり当寺に一時役場が置かれていたようである。妙蓮寺会館を借用して昼食を摂る。

かつて、政治と商業の中心地として繁栄した川和の街並みを偲び眺めながら、最後の訪問地である瑞雲寺を訪ねる。

瑞雲寺は臨済宗円覚寺派、本尊　釈迦坐像、開基貞治 2 年。「筆塚」「鶴見川渡しの地蔵」がある。ゴールはすぐ目の前、川和町駅まで歩き、解散した。本日は寺院仏閣が　やや少なかったが、天気快晴、横浜の気温 26 度、やや、暑い日ながら、快適な探訪が出来た。

参加者の状況・意見など：

本日はガイドの会の事情で 2 班体制で実施した。本日が「神奈川いまむかしガイドの会」の最後の探訪となったが、年間を通じガイドの行き届いた説明や対応に深く感謝したい。

次回の予定：

６月２日（木）　１０：００　十二所バス停集合　　鎌倉市十二所地区